

マーケットの動き（2024年12月23日～12月30日）

国内株式市場は、12月20日比で上昇しました。

米国長期金利の高止まりによる日米金利差拡大を背景とする円安・米ドル高の進行を受け、輸出関連株を中心に買いが入り、27日の終値は約5ヶ月ぶりに4万円台を回復しました。その後、大納会となる30日は、前営業日で株価が上昇した反動もあり、利益確定売りなども出やすく上昇幅を縮めて終えました。

投資環境見通し（2024年12月）

国内株式相場はレンジ内で推移

企業業績については、所得環境の改善が個人消費の回復につながると考えられることに加えて、経済対策のプラス効果も期待されることから、底堅く推移するとみています。日米ともに減税に対する期待が広がる中、半導体需要の先行きに対する慎重な見方もあることに加えて、日銀による利上げ観測も重しとみられることから、国内株式相場はレンジ内で推移するとみています。

	12月30日	騰落率			
		12月20日比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
TOPIX（東証株価指数）	2,784.92	3.07%	3.89%	▲0.88%	17.69%
日経平均株価	39,894.54	3.08%	4.41%	0.79%	19.22%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202412_outlook.pdf

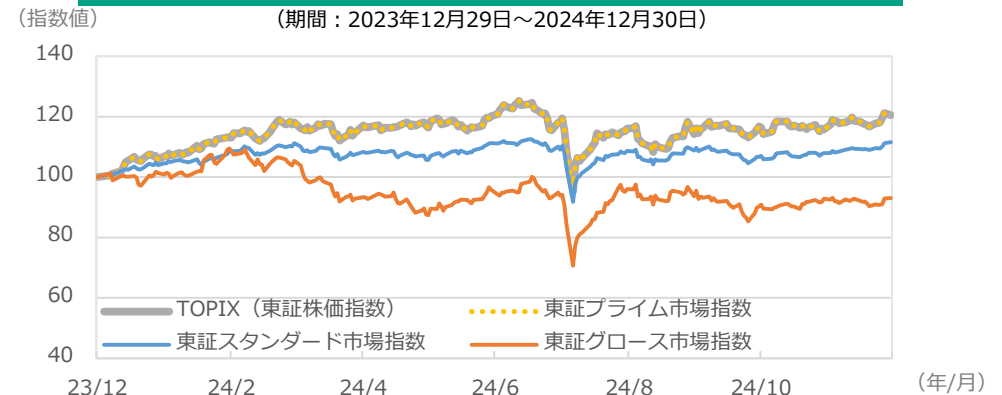
日経平均株価、TOPIXの推移

(期間：2023年12月29日～2024年12月30日)



東証市場別指数の推移

(期間：2023年12月29日～2024年12月30日)



※2023年12月29日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>